

実務経験のある教員等による授業科目の

授業計画書（シラバス）

《省令で定める単位数等の基準数相当分》

～ペット総合学科～

（トリマーコース）

科目名	ビジネスマナーⅠ	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人柄のマナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・敬語、ビジネス電話応対、手紙の書き方、Eメール送信の基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	教本 (実践ビジネスマナー)、電話応対模擬教材、便せん、封筒、切手							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・身だしなみを身につける							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画 (全体)	教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを繰り返し交えて授業を行います。 応対は模擬応対機を使用し、実務に即した応対を指導します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。				特に電話			
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2	第1章 社会人としての心構え1 (接遇の基本理念・ねじクオリティ・CS思考)							
3~4	第1章 社会人としての心構え2 (報告・連絡・相談), 3							
5~6	第3章 言葉遣いの基本 1 (日本語の特性、接客8大用語、クッション言葉)							
7~8	第3章 言葉遣いの基本 2							
9~10	第3章 言葉遣いの基本 3							
11~12	手紙の書き方 お礼状・お詫び状							
13~14	第5章 電話応対 1, 2 資料編1 発声練習、2 滑舌の練習							
15~16	第5章 電話応対 2, ロールプレイング3							
17~18	第5章 電話応対 3, 4							
19~20	第5章 電話応対 ロールプレイング4							
21~22	第5章 電話応対 5, ロールプレイング5							
23~24	第5章 電話応対 ケーススタディ3							
25~26	第5章 電話応対 6, (クレーム対応)							
27~28	第5章 電話応対 6, (Eメール)							
29~30	前期試験実施							
成績評価方法	1 期末試験 (筆記) と出席率 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎			秀、S (4) : 90点以上
小テスト	◎	○						優、A (3) : 80点以上
宿題/授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度								可、C (1) : 60点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59点未満
演習								未修得・履修放棄、F
出席								() 内はGPA点数
担当教員	松原厚子		実務経験紹介	日本電信電話ユーザ協会 電話応対検定指導者級保持				

科目名	ビジネスマナーⅡ	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、 目標とする資格・検定 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・接客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。 							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する							
受講条件								
事前学習について(テキスト・参考書等)	教本(実践ビジネスマナー)、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	社会人として常軌的な行動・言動を習得する							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画(全体)	教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを繰り返して授業を行います。の仕方や、応答室や廊下、エレベーターを使用するのロールプレイングも実施します。社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。				名前交換			
授業計画(授業単位)								
回数/日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2	第4章 接客応対 1, 2							
3~4	第4章 接客応対 ロールプレイング1							
5~6	第4章 接客応対 4, ロールプレイング2							
7~8	第4章 接客応対 5, ケーススタディ1							
9~10	第4章 接客応対 6							
11~12	第4章 接客応対 7, 9, 10							
13~14	第4章 接客応対 8, ケーススタディ2							
15~16	第6章 訪問のマナー1, ロールプレイング6							
17~18	第6章 訪問のマナー2							
19~20	第6章 訪問のマナー ロールプレイング7, 名刺							
21~22	第6章 訪問のマナー3, 資料編3							
23~24	資料編4, 5							
25~26	ビジネス文書							
27~28	個人情報保護法							
29~30	後期試験実施							
成績評価方法	1 期末試験(筆記)と出席率 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S(4):90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A(3):80点以上
宿題/授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
出席							評価なし	未修得、履修放棄、F
							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	松原淳子		実務経験紹介	日本電話ユーザ協会 電話応対検定指導者級保持				

科目名	ドックトレーニング	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年生前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	犬のしつけ（実技）を学ぶ							
授業の一般目標	歩く、触ることができるようにする							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標	<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 犬のしつけ、訓練について説明ができる <input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 その犬に対してどのようなしつけ方法が合うかを考える事ができる <input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 犬の行動について理由を考えることができる <input type="checkbox"/> 態度の観点 どのような犬でも冷静に対処できる <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点 自信をもってどのような性格の犬でもしつけできるようになる							
授業計画（全体）	座学にて全体の流れ、犬の習性や本能について学んだあと、実際に犬を使って実技を行う							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1～4	犬の本能について（座学）							
5～8	犬の習性について（座学）							
9～12	「歩く」練習 1							
13～16	「歩く」練習 2							
17～20	「歩く」練習 3							
21～24	「触る」練習 1							
25～28	「触る」練習 2							
29～32	実技試験							
成績評価方法	1単元末の実技試験 2授業態度や積極性 3出席率 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		80	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度	○				◎		10	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			10	（ ）内はG P点数
担当教員	末岡 賢志		実務経験紹介	訓練士歴 19年 ドッグスクールSue http://dogschoolsue.com/				

科目名	技術大会トリミング実習Ⅰ	単位数	8	科目コード	
授業形態	演習	時間数	120	開設期	2年前期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	

授業概要（目的・目標とする資格・検定）
 年度末2月実施予定の「全日本学生トリミング技能コンテスト」入賞を目指し、トリミング技術の向上を意図した授業
 コンテスト出場条件である、「ブードルのラム・クリップ」を時間内で施術する

授業の一般目標

受講条件

事前学習について（テキスト・参考書等）
 JK C最新ドッググルーミングマニュアル等

授業の到達目標

知識・理解の観点 犬種標準を理解して、トリミングが出来る

思考・判断の観点 犬種の体調を考えて、トリミングが出来る

関心・意欲の観点 コンテストを意識して、時間短縮ができる

態度の観点 教材犬の負担を考慮したトリミングができる

技能・表現の観点 犬種の個性に応じた、トリミングが出来る

授業計画（全体）

多様・多様なトリミング技術の習得

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～120	トリミング技術の向上と時間内施術(コンテスト入賞)		

成績評価方法

- 1 演習
- 2
- 3
- 4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S(4)：90点以上
小テスト								優、A(3)：80点以上
宿題授業外レポート								良、B(2)：70点以上
授業態度								可、C(1)：60点以上
発表・作品								不可、E(0)：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100	未修得、履修放棄、F
出席								()内はGPA点数

担当教員 木下 典子 実務経験紹介 トリミングサロン オーナートリマー

科目名	技術大会トリミング実習Ⅱ	単位数	6	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開校期	2年後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	年度末2月実施予定の「全日本学生トリミング技能コンテスト」入賞を目指し、トリミング技術の向上を意図した授業 コンテスト出場条件である、「ブードルのラム・クリップ」を時間内で施術する							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	JKC最新ドッググルーミングマニュアル等							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	犬種標準を理解して、トリミングが出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	犬種の体調を考えて、トリミングが出来る							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	コンテストを意識して、時間短縮ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	教材犬の負担を考慮したトリミングができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	犬種の個性に応じた、トリミングが出来る							
授業計画（全体）	多様・多様なトリミング技術の習得							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1~90	トリミング技術の向上と時間内施術(コンテスト入賞)							
成績評価方法								
1	演習							
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S(4):90点以上
小テスト								優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート								良、B(2):70点以上
授業態度								可、C(1):60点以上
発表・作品								不可、E(0):59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100	未修得、履修放棄、F
出席								()内はGPA点数
担当教員	木下 典子		実務経験紹介	トリミングサロン オーナートリマー				

科目名	インターンシップ1	単位数	1	科目コード				
授業形態	実習	時間数	30	開設期	1学年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象				
授業の目的・目標とする資格・検定等	実習を通じ、就職意識を高める 自覚検定試験：小動物看護士、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	現場での実習体験を通じ、自分の適性を確認できるようにする。 働くことの意味と楽しさ、楽しさを体感し、自分の就職活動の幅を広げる							
受講条件								
事前学習について(テキスト・参考書等)								
授業の到達目標	<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 <input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 <input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 <input type="checkbox"/> 態度の観点 <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点							
授業計画(全体)	事前指導を行ってから実習に行く。実習後にお礼状を作成。							
授業計画(授業単位)	回数/日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録				
	1～15	外部企業での実習						
	16～30	外部企業での実習						
成績評価方法								
1)評価報告書により評価								
2)								
3)								
4)								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								優、S (4) : 90点以上
小テスト								優、A (3) : 80点以上
宿題/授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度	◎	◎	◎	◎	◎		60%	可、C (1) : 60点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59点未満
出席			○	◎			40%	未修得、履修放棄、F
								()内はGPA点数
担当教員				実務経験紹介				